

福井市観光物産館



新事業展開！オレボ食堂！

平成 28 年 4 月より福井駅再開発ビル内 2F にて、観光物産館をオープン。同社が指定管理者となり、福井県内の食品・工芸品を販売しています。小川社長自らが選りすぐりの商材を集めた物産館。その店舗内にある(株)大津屋が運営する郷土料理店「福福茶屋」にて打ち合わせを行いました。



社員の発案！オンライングルメショップ

社員が発案した動画オンラインショップ！「これがうまいんじや」テレビショッピングのようなやり方で、出演者は全員社員が担当。地元の食材だけでなく、全国津々浦々のグルメを集めたお取り寄せショップ。今後の事業の柱として見守る。

INFORMATION

企業概要

Company profile

商号：株式会社 大津屋
 所在地：福井県福井市西木田 1-20-17
 創業：1573 年
 設立：昭和 38 年
 売上高：16 億 1886 万円（2015 年 9 月期）
 正社員：25 名 パート：300 名
 【事業内容】
 ・コンビニエンスストア オレンジ BOX
 ・ダイニングコンビニ オレボステーション
 ・米飯と惣菜ショップ オレボキッチン
 ・これがうまいんじや大津屋 オンラインショップ

プロフィール

Pfofile

名前：小川明彦（おがわ あきひこ）
 生年月日：1956 年 8 月 1 日
 出身：福井県福井市
 出身大学：慶応義塾大学商学部卒業
 大学卒業後、地元福井に戻り、家業である酒屋の「大津屋」を継ぐ。



5/17 新事業を立ち上げたばかりの店舗にて、会社見学させていただきました。小川社長の経営姿勢を肌で感じる事ができました。

この例会前に行う報告者との打ち合わせ！役員にとって役得です！

例会では聞けない具体的な戦略や取り組みなど、包み隠さずお話ししてくださいました。

大手に負けない中小企業のあり方！

報告者 株式会社 大津屋 代表取締役社長 小川明彦氏（福井同友会会員）

岐阜地区オープン例会 設営：岐阜北支部

日時：2016.7.21 18:00 より
 会場：ハートフルスクエア G 2F 大研修室
 テレビ東京系 日経スペシャル
 「カンパリア宮殿」に出演 2016.3.10 放送

- ▶ 例会の参加は無料です。
- ▶ 例会終了後の懇親会は飲食代をいただきます。
- ▶ 報告者の小川社長も懇親会に参加されます。

福井県民で知らない人はいない！

今では福井県民で知らない人はいないと言われるほど人気がある、地元密着型コンビニ「オレボステーション」。店舗あたりの売上や客単価が全国トップクラスを誇る同社の特徴はなんなのか！

大企業で働くことへの抵抗！

大学卒業後、大企業でサラリーマンの道もあったが、「自分が意思決定でき、実行する仕事をしたい」「自分が楽しい」と思える仕事がしたいという思いが強かったため、家業を継ぐことを決めた。しかし、当時、地域の酒屋は衰退の一途であり、将来的に危機感を持っていた。

地域密着、大企業がやれないことを！

コンビニ参入の際、大手フランチャイズの傘下に入ることはしない！独自の道を切り拓き、大手に真似できない店内調理と 24 時間営業のコンビニ「オレンジ BOX」を出店。独自路線を貫き、大手に負けない存在感となっている。

全国トップクラスの客単価！常に顧客目線で考える・・・

県内に数店舗しかないが、全国のコンビニチェーンのなかで、店舗あたりの売上げや客単価は全国トップクラスである。



にぎりたてのおむすびや目の前で調理されたお弁当など、消費者が「食べたい」と思えるものばかり。

今までの常識にとられない、斬新なアイデアで店舗展開している。大手コンビニでは、絶対やろうとしないことをスピーディーに実践していく。中小企業が大企業に勝るのは、経営者の意思決定から実践に移るまでのスピードですね。

中小企業だからこそ、大手企業よりも社員を大切にしなければならない！

社員が新しいことにチャレンジできる社風を大切にしている。「チャレンジには、苦労や失敗はつきもの。でもチャレンジすることに対して邪魔をする行動は許さない」と語る小川社長。

「失敗しても社長が守ってくれる」と思われるような関係を構築することで、工夫・アイデアが社員から湧き上がる。同社では、アイデアが出てから商品やサービスになるまでがスピーディー。だからこそ、社員にとっては「この会社、楽しい！」と思えるようだ。

これらの風土は、社内コミュニケーションにも繁栄されている。「チームワークを形成するためにはマニュアルは不要。指示しなくても互いに穴を埋め合い、物事をチームで完結させることができる雰囲気」が大切だと語る。